



開講！ 女性部冬期講座！！

女性部各支部の人気恒例行事『冬期講座』が、12月3日の藤里支部（藤原京子支部長）を皮きりに開講しました。

農閑期の冬期間を利用した学習活動と女性部員同士の親睦を目的に、12月から3月まで多種多様な10講座が開催されます。

藤里支部の第1回目の冬期講座には部員約30名が参加し、料理講習会を行い地場産の舞茸を使った「甘辛炒め」など5品目を調理しました。

講師は女性部小山いく子副支部長ら3名が務め、顔馴染みが講師だけあって調理室内は遠慮なく意見が飛び交う活気ある講習会となりました。

参加した部員らの調理は手際が良すぎて、生活課職員が「もう少しゆっくり、楽しみながら作りましょう。」と講習会の時間ペース配分に苦慮する1コマも見られました。

手際よく調理された5品目は湯気立ち込めるうちに別室に運ばれ、参加した部員らは自らが調理した品々に舌鼓を打ちながら、令和元年を振り返るなど世間話に花を咲かせていました。

次回の冬期講座では、手芸や野菜栽培講習会などを計画しており、女性部各支部では多数の参加をお待ちしております。



2地区でミニデイを開催 ～JA助け合い組織活動～



J A助け合い組織協議会（藤田ミヤ子会長）は支部毎に年に一度各地区を巡回訪問しミニデイサービスを行っており、今回は能代支部の「いきいき会」は能代市道地地区で、ニツ井支部の「たんぼぼ会」はニツ井町鬼神地区で、地域住民を交えたミニデイサービスを行いました。

当組合では高齢化社会に対応するため、ふれあい助け合い活動を通じて心豊かな地域作りを推進しております。



道地地区で開催されたミニデイサービスでは、まだまだ元気な地域住民の方々15名が参加して開催されました。

藤田ミヤ子会長は「地域住民同士のふれあいを大切に、今日は、大いに笑って楽しみましょう。」とあいさつすると、いきいき会のメンバー6名も一緒に、手始めに嚙下運動の一環として予め用意した歌詞本を見ながら「ボケます小唄」をお座敷小唄の節に合わせた替え歌で大合唱した後、タオル体操で腕を上げたり、足を伸ばしたりと全身のストレッチで体をほぐし、うちわでビニール袋を落とさないようにあおぐゲームでは会場は熱狂と笑いに包まれました。

